

I 調査の概要

1 調査の目的

本県における入院患者の移動実態や入院患者の傷病構造と受療行動等を把握し、第7次愛媛県地域保健医療計画の策定の基礎資料とするとともに、今後の保健医療対策の確立に資する主要な基礎資料を得るため実施した。

2 調査の時期及び対象

平成28年10月3日（月）における、愛媛県内の全病院及び全有床診療所（歯科医療施設を除く）の全入院患者について調査した。

3 調査事項

巻末の調査票に掲げる事項とした。

4 調査の方法

本調査は、愛媛県が主体となり、愛媛県医師会の協力を得て実施した。

愛媛県が県ホームページに掲載した調査票の項目を、同ホームページに掲載した回答票に各医療施設が記入し、電子データで回収する方法をとった。（インターネット環境がない医療施設は、紙媒体による）

5 地域の区分

市町別及び第6次愛媛県地域保健医療計画に定める6つの二次保健医療圏別に検討した。市町の区域は、平成29年4月1日時点のものとした。

6 傷病の分類

第10回修正「国際疾病、傷害および死因統計分類（ICD）」を用いた。

7 対象医療施設数及び回収状況

区 分		調査対象施設	調査日に入院患者 がなかった施設	回答施設	未回収
総数	病院	142	2	140	0
	診療所	192	70	120	2
宇摩圏	病院	9	1	8	0
	診療所	8	4	4	0
新居浜・西条圏	病院	22	0	22	0
	診療所	17	7	10	0
今治圏	病院	30	0	30	0
	診療所	25	9	16	0
松山圏	病院	52	0	52	0
	診療所	107	38	67	2
八幡浜・大洲圏	病院	16	0	16	0
	診療所	14	3	11	0
宇和島圏	病院	13	1	12	0
	診療所	21	9	12	0

8 調査の経緯

本県では、愛媛県、愛媛県医師会及び愛媛大学医学部の三者で構成する「愛媛県地域保健医療基本計画調査協議会」が、昭和 55 年 7 月 9 日に「愛媛県患者調査」を実施した経緯がある。

また、平成 3 年 7 月、平成 6 年 10 月、平成 11 年 10 月、平成 16 年 10 月、平成 22 年 7 月には入院患者に限定した「愛媛県入院患者調査」を実施している。

昭和 55 年の調査は、入院患者 22,088 人及び外来患者 74,675 人を対象とした大規模なものであり、平成 3 年の調査では入院患者 26,341 人を、平成 6 年の調査では入院患者 25,157 人を、平成 11 年の調査では入院患者 24,373 人を、平成 16 年の調査では入院患者 23,510 人を、平成 22 年の調査では入院患者 21,529 人を対象としたものであった。

9 指標の基礎となる人口

入院受療率等、対人口率の基礎となる人口は、調査時の直近の国勢調査人口（平成 27 年 10 月 1 日）を用いた。